

# 赤谷プロジェクト近況報告

## 放送大学の面接授業



赤谷プロジェクトの説明

放送大学群馬学習センターによる面接授業が「生物多様性保全と国有林管理」をテーマに5月17日(土)、18日(日)の2日間にわたって「赤谷の森」などで行われ、放送大学の生徒約20名が参加しました。

今回の授業の特徴は、赤谷森林環境保全ふれあいセンター、(財)日本自然保護協会、放送大学群馬学習センターが連携し、「赤谷の森」の野外授業を取り入れたことです。

1日目は、沼田市図書館で赤谷森林環境保全ふれあいセンター所長から「赤谷プロジェクトの内容とその意義」、(財)日本自然保護協会から「生物多様性と新しい時代における地域環境管理」などの講義を行いました。

2日目の野外授業では、「赤谷の森」の豊かな自然を観察するとともに、当局OBの長島成和さんが、森林土壌と植生の関係や生物多様性について解説を行いました。

今回の面接授業は、受講生に大変好評で「国有林がこのような先進的な協働の取組を実施しているとは驚いた。今後も赤谷プロジェクトに関心を持っていきたい」、「野外授業では「赤谷の森」の自然を楽しめた」などの感想が聞かれました。

放送大学との連携は初めての試みでしたが、来年度も継続して実施していきたいと考えております。



森林土壌と植生の関係についての説明

## 千葉市中中学生への環境教育の実施

6月6日(金)に千葉市白井中学校の生徒38名を対象として環境教育を実施しました。これは例年いきもの村近くの高原千葉村において、千葉市の中学校が総合学習の時間を利用した体験学習を実施しており、赤谷センターからも「いきもの村自然体験」として環境教育プログラムを提供しているものです。

この取組は千葉森林管理事務所とも連携しており、事前学習として千葉森林管理事務所の職員が白井中学校において森林教室を開催し、「森林のはたらき」についての講義や丸太切り体験などを実施し、「赤谷の森」の「いきもの村自然体験」と組み合わせることにより、森林の役割や「赤谷の森」などについて、より深い理解が得られるよう取り組んでいます。

「いきもの村自然体験」では、センター職員から赤谷プロジェクトの概要、センサーカメラで撮影された「赤谷の森」の動物の様子について説明を行い、その後、センサーカメラを実際に設置する実習を行いました。



地域協議会長濱さんによる自然散策路のガイド

いきもの村周辺の自然散策路では、赤谷プロジェクト地域協議会の長濱陽介さんに協力して頂いて、リスやアカネズミがかじった木の実やウワミズザクラの幹にある熊が木登りした爪痕などについて解説しました。

普段は動植物と触れあったことが少なく、森林・林業や環境問題についてもあまり関心がない生徒も多かったようですが、これを機会に森林・林業や環境問題への関心を高めてもらえればと期待しています。



職員によるセンサーカメラ取り付け実習